

(1) アートギャラリーの指定管理者による管理運営について

資料・箇所	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
1 資料2 全体	指定管理者による弾力的な管理運営を期待しますが、民間の利点を活かす運営について、例えば、開館時間を夜間まで延長することや、来館者に対しての作品説明などを含め積極的なコミュニケーションを図ることなど、どのようにお考えでしょうか。	住民サービスをどのように向上させていくか、指定管理者と協議して参ります。
2 資料2 企画展事業	地元出身の作者の展示期間中に、作者とのトークイベントを開催し、作品をどのように考え、取り組んでいるかお聞きしたい。対象は一般市民とアートコアを支える市民の会を創り案内を出しては、どうでしょうか。	アートギャラリーでは、「アーティストトーク」を開催した実績があることから、指定管理者との協議の中で、参考にさせて頂きたいと存じます。
3 資料2 企画展事業	地域のアート作家さん達もたくさんいらっしゃいます。以前紹介された、蒔絵師の豊平翠香さんや、藍染氏の田中昭夫さん、錫師の松下喜山さんの作品の展示を、もう一度企画してはどうでしょうか。	「指定管理者に求める事業」の企画展事業の中に「市・県ゆかりの作品展」がありますので、今後、指定管理者と提案内容について、協議して参ります。
4 資料2 企画展事業	・市内巡回展は、とてもよい企画だと思っています。ただ、会場が市内中心部に集中していることは残念です。現行の「文化芸術基本計画」においても指摘されていることであり、他地域の市民やたまたま訪れた市外の人たちにとって、文化芸術にふれたり、川口市を知ってもらったりする機会にしたいと思っています。 ・例えば、グリーンセンターやイイナパーク。イオンモールのイオンホール（コロナ禍で未使用）など、駐車場を備えた場所での開催しては、どうでしょうか。 ・また、市内中心部へのアクセスの改善を求める声もありましたので、民間との共同によるサービス向上はできないでしょうか。例えば、スイミングスクールやスポーツ教室の子ども用循環送迎バスは、平日は昼過ぎまでは稼働していないようです。	グリーンセンターのシャトー赤柴において、将来的に美術作品を展示できるように検討しておりますので、ご提案につきましては、参考にさせて頂きたいと存じます。
5 資料2 企画展事業	前回の会議でアーティスト・イン・スクールについて、存続を望む声が多かったと記憶していますが、内部で議論されたのでしょうか。その後の経緯をお聞きしたい。	アーティスト・イン・スクールは、令和3年度をもって廃止いたしました。それに代わる新たな教育普及に関連する事業について、指定管理者と協議して参ります。
6 資料2 企画展事業 自主事業	・「アーティスト・イン・スクール」の廃止は、やはり残念です。形はどうか、アーティストとの直接の交流は大事にしたい。子どもたちばかりでなく、大人・ビジネスパーソンとでもよい。現代は予測不可能なVOCA時代であり、AIにはできない発想が求められています。アーティストからの刺激がデザインシンキングのよい機会になると考えますが、いかがでしょうか。	アーティスト・イン・スクールは、令和3年度をもって廃止いたしました。それに代わる新たな教育普及に関連する事業について、指定管理者と協議して参ります。
7 資料2 ワークショップ事業	ワークショップの（うごかすカタチ）影の追いかけっこは楽しい企画だと思っています。今回、「江戸写し絵」をご紹介させていただきます。江戸時代には隅田川花火大会の折に物売りの舟が出る中に、写し絵を出して役者の“ものまね”をする舟も出ました。日本の伝統文化をご紹介できたらと思いますが、いかがでしょうか。	ワークショップ事業は、これまで、子どもから大人まで楽しめる様々な企画を開催し又、造形だけでなく身体表現や鑑賞なども組み合わせたオリジナルのプログラムを実施して参りました。ご提案の「江戸写し絵」につきましては、指定管理者との協議の中で、参考にさせて頂きたいと存じます。
8 資料2 ワークショップ事業 各種講座事業	子どもから大人までが楽しみながら創造する喜びを共有できる体験は、これまでも貴重な催しでしたが、さらに広く発展できるように取り組んで欲しいと思います。 様々な分野の専門家を招き、ものづくりを学ぶことで広く参加を増やしていくことが期待できます。積極的な取り組みを期待します。思いがけない発見は創る喜びを増長させてくれると思いますが、いかがでしょうか。	ワークショップ事業は、これまで、子どもから大人まで楽しめる様々な企画を開催し又、造形だけでなく身体表現や鑑賞なども組み合わせたオリジナルのプログラムを実施して参りました。指定管理者制度の導入後は、様々なアーティストを講師として招き、参加者が自由な発想やアート作品の制作を楽しみ、創る喜びを感じられるような事業になるよう、指定管理者と協議して参ります。
9 資料2 連携事業	街を美術館に。祭りの期間中とかをチャンスにとらえて、小・中高生の作品展示を街の中や広場でやって欲しいと思います。粘土細工や提灯に描くなど、風雨を考えて詰める。次世代の作品で街を元気にして欲しいと思いますが、いかがでしょうか。	様々な場所や機会を捉え、小・中・高校生の作品を展示する試みについては、指定管理者との協議の中で、参考にさせて頂きたいと存じます。

(1) アートギャラリーの指定管理者による管理運営について

資料・箇所	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
10 資料2 連携事業	小中高校生の文化芸術振興はまだまだ拡充していく必要があると思います。 学校関連の事業では各学校から選抜された作品が展示されていますが、選抜されなかった作品の中にも優秀作品、意欲的作品があると容易に想像でき、それらが発表・評価の機会を失っているのが残念です。 また、川口市には小中学生が自由なテーマを発表できる機会がないので、自由なテーマで自主的に出品できる展覧会があると良いかと思いますが、いかがでしょうか。	学校連携事業につきましては、「川口市小・中・高校硬筆展覧会」をはじめ、「川口市小・中・高校書きぞめ展覧会」や「川口の図工美術まなび展」などを開催して参りました。 ご提案の「選抜されなかった作品」や「自由なテーマでの展覧会」につきましては、指定管理者との協議の中で、参考にさせて頂きたいと存じます。
11 資料2 連携事業	アートクラブ展は、市内中学校文化部の年1回の大きな発表です。 運動部であれば市の大会に相当する展示で、他校の文化部どうしが交流できる数少ない機会です。 しかし、会期は高校入試と重なる時期で、ほとんどの3年生は参加しません。 他企画との関係性、年間の成果発表といった都合もあるのですが、どうか部活動の盛り上がりや中学生の気持ちも考慮していただきたい。 3年生が有終の美を飾って引退できる7月～10月ぐらいの時期に開催できないでしょうか。	「中学生のART CLUB展」につきましては、例年、1月下旬から2月上旬にかけて開催しており、開催時期を変更する場合には調整が必要となりますので、学校関係者と協議して参ります。
12 資料2 自主事業	美術・工芸作品に限らず、マニアが集めているものや、大工道具、おもちゃ、楽器、マッチなどなんでもよいので、おもしろいものを集めている人を発掘して展示を開催したら、どうでしょうか。	美術・工芸作品のみならず、個人の収集品などの展示につきましては、指定管理者との協議の中で、参考にさせて頂きたいと存じます。
13 資料1・2	指定管理者を導入するにあたり、アトリアが今まで行ってきた方針を引き継ぐ形でされるのでしょうか。また、新たな取り組みをされるようでしたら、その方針をお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。	指定管理者制度の導入後も、施設の設置目的である「美術作品の創作体験や鑑賞、発表等の場を提供することにより、市民が美術に親しみ、豊かな文化生活の形成に寄与する。」という、その目的は継承して参ります。 また、指定管理者には、さらに市民の芸術に触れる機会を増やし、アートへの関心を高め、新たな市民ニーズへ柔軟に対応できるように努めるよう求めています。
14 参考資料1	市民参加型の美術施設として、「多くの市民の方が芸術と触れ合い、学ぶことができる場を提供する。」という観点から、確か以前あったカフェのような飲食ができる休憩所としての利用を指定管理者に求める事業運営に追加できたらと考えています。 コロナ禍では難しいと思いますが、芸術に興味のない人達もふらりと入れるカフェとしての場所を提供することにより、企画展等のチラシや情報を目にする機会が増えたらよいと思いましたが、どうでしょうか。	指定管理者の選定にあたり、「パントリーの活用について」、指定管理者から提案して頂いております。 以前、市において、パントリーを運営する事業者を公募しておりますが、採算が合わず、撤退した経緯がございますことから、パントリーの有効活用について、指定管理者と協議して参ります。
15 参考資料3	・展示会のみならず、実技講座、鑑賞講座、アートさんぽ（今回の路上観察も参加したいくらい!）など、ユニークかつ有意義な企画が多かったことに敬意を表します。ただ、やはり「文化芸術基本計画」において、「情報を集めづらい」との課題の指摘もありますが、いかがでしょうか。	指定管理者制度の導入後は、民間事業者が有するノウハウを活用し、施設の集客促進に繋がるような情報発信に努めるよう求めています。
16 資料なし	私の身近なところでは川口市民でありながら、アートギャラリーに足を運んでいらっしゃる方が少ないと感じています。 今年度、そして指定管理者導入後も、企画展事業、連携事業は特に多くの市民の方の目に触れていただけるように発信していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。	指定管理者制度の導入後は、民間事業者が有するノウハウを活用し、施設の集客促進に繋がるような情報発信に努めるよう求めています。

(2) その他

資料・箇所	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
1 資料なし 美術館建設	アートギャラリーと美術館の立ち位置について、どのようにお考えでしょうか。	美術館は、市内・県内の作家や本市所縁の作品を展示し、本市の「文化芸術の創造・発信拠点」と位置づけ、アートギャラリーは、気軽にアートと出会える事業を実施し、市民の身近な美術の入門場所として、位置づけております。
2 資料なし 指定管理者公募について	指定管理者を選定するのは、どのような方でしょうか。川口の会社が地域発展のために相応しい気もしますし、アートの質が高い企画を行える会社なら市外から新たな風を取り入れるのも良いと思います。アートギャラリーがさらに発展することを願います。	指定管理者を選定する委員につきましては、教育総務部長と選定施設に応じた専門的知識を有する外部の委員です。 また、今回の指定管理者につきましては、市内・準市内の法人その他の団体としております。
3 資料なし	<ul style="list-style-type: none"> ・スキップシティやグリーンセンター、キュポ・ラや危機管理課の講座やイベントに参加させていただいたが、申し込み方（電話・メール）や支払い方法（WEB決済、当日払い）などがバラバラであり、個人情報もその都度、伝える必要があります。 ・そこで、ポータルサイトの設置してはどうでしょうか。市主催の行事、個人や団体が催すイベント、地域のお祭りなどを掲載し、検索できるようにしてはどうでしょうか。 ・また、個人情報を登録しておけば、申し込みから決済までを簡易にできるよう利便性を高めてはどうでしょうか。（図書館カードのイメージ。マイナカードは使える？） 	現時点では、個人情報の取り扱いの観点から難しい面があります。今後、市として、そのような方向性になりました時には、参考にさせて頂きたいと存じます。
4 資料なし	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議でも話題になったが、これからの時代において「IOT化・AI化」（「文化芸術基本計画」より）もやはり避けて通れないと思います。 ・学校現場においても「GIGAスクール構想」をコロナ禍が後押しし、子どもたちに一人一台のタブレットが配付されるなど、デジタル化が進んでいます。対面とオンライン各々の良さを融合させる「ハイブリッド型」の授業が展開されました。 ・美術館、博物館においても、ソーシャルメディア専属の人員を配置して積極的に日々の発信を行ったり、キュレーターや学芸員が開催前にWEB解説をリアルタイムで行ったりするなど、話題性を高め集客につなげています。 ・市としても、デジタル化に注力する必要があると考えますが、いかがでしょうか。 	文化芸術分野においてもインターネットやSNS等を活用し、情報発信することは、様々な手段で情報を得られることに繋がることから、指定管理者との協議の中で、参考にさせて頂きたいと存じます。
5 前回の資料	川口市文化芸術基本計画（事業評価）今後のスケジュールについて※以降のことばの整理を行うということでしたが、結果はどうなりましたでしょうか。	ご指摘いただきました内容に基づき文言を整理させていただきました。